

今日は、ベジ気分!

ベジタリアンと大豆は切っても切れない間柄。
少し、ベジな生活をのぞいてみませんか?

第2回日本ベジタリアンアワードで、企業賞を受賞され、長年ベジタリアン・ヴィーガン・自然食品の普及に貢献されている、「わらべ村」オーナーの桜井祐子さんを、橋本晃一がご紹介します。



「わらべ村」の信頼できる豊富な食品
ほか生活用品、書籍等商品の数々



岐阜県美濃加茂市のはずれにある小さな木造りの店、**わらべ村**。店内には所狭しとベジタリアン食材、マクロビオティック食材、使い心地のいい生活用品、動物実験していない化粧品、フェアトレード品、木のおもちゃ、書籍などが並んでいます。

オーナーの桜井祐子さんがお店をオープンしたのは1995年、今から22年前になります。その1年前にベジタリアン食材の通信販売を始めました。祐子さんのお父様が営んでおられる食品工場、桜井食品の一角を借りてのスタートだったようです。

当時、欧米のオーガニックショップ向けに製造・輸出されていたマクロビオティック食品には、すばらしい日本の伝統食材が多くありましたが、残念ながら国内ではほとんど流通していませんでした。それらを中心とした通信販売でした。

当然ご利用されるのは、そのような食品を探し求める方々だったそうですが、遠方のお客様に商品を発送する日々の中で「身近なこの地域の方にもこのような食品や食生活もあるということを知っていただけたらいいな」とい、店舗を構えました」とのことです。

自分自身がヴィーガン生活をする中で、あったらいいなと感じたものやお客様からのご要望で、店内に次々と商品が増えていったそうです。それは食



「わらべ村」の外観

今日のベジーさん

さくら い ゆう こ
桜井 祐子さん
～自然食品店
「わらべ村」
オーナー～



●ヴィーガンになったきっかけ●

岐阜県在住。製粉製麺業を営む家庭に生まれる。ちょうど農薬や食品添加物の危険性を知った曾祖父が添加物を使用しない製品づくりに一大転換した頃であり、国内初の無添加かつ100%植物性のラーメンを発売した年でした。そんなこともあり、幼い頃から食や添加物について自然と興味を持っていましたが、18歳の頃、アメリカのオーガニックショップ視察に同行し、さらに興味を強く抱くようになりました。その後、食物栄養科に進みましたが、現代栄養学に疑問を抱き、栄養士の道には進まず、全く関係のないアパレルの仕事に就きました。21歳の時、『ぼくが肉を食べないわけ/ピーター・コックス著』を読み、それまでパック詰めされたお肉からは想像することのなかった裏側にショックを受け、その夜からヴィーガンに。それから間もなくして、母と「わらべ村」をスタートしました。

●オンラインの新ショップ準備中●

現在、イギリスの動物福祉団体 BWC Charitable Trust にによって設立されたヴィーガン化粧品会社 Beauty without cruelty の品を中心としたヨーロッパのヴィーガンコスメを日本でも手軽に購入できるオンラインショップ「Vegan Cosme Japan」を開店準備中。



ベジタリアンを料理面から応援するお料理担当スタッフ
バラエティ豊富なメニューがある

●ベジタリアンライフ の提案●

品に限らず、生活用品や衣類、化粧品などにも及び、現在の取り扱い商品は3000点ほどです。
作り手さんのお話を伺って心動かされた品や、商品誕生までの物語が思い出深い品も多くあり、さらにスタッフの「あったらいいな」から生まれた商品もいくつかあり、例えばベジタリアンのシチュールウやカレー、グラタンミックスなどは、隣の桜井食品で製造されています。
今後も「ベジタリアンの方々に喜んでいただける食品づくりに貢献できたら」と、祐子さんは語ります。

ただ「商品を販売するお店」としてではなく、同じ思いを持つ方々の交流の場づくりやベジタリアンライフの提案もできたらと思いつつ、料理教室や持ち寄り会、収穫祭、講演会、パネル展なども開いてきたそうです。
また、隣町の子育て情報誌編集室の階下でカフェをしないか、と声をかけられた事がきっかけで、Cafe Mannazをオープン。ひえ、あわ、きび、高きびなどの雑穀をお肉や魚、卵風に見立てたもどき料理や、大豆ミートやおか

豊かなベジライフを提案する わらべ村

わらべ村

ネット通販その他の情報は

<http://www.warabemura.net/> で

岐阜県美濃加茂市加茂野町鷹之巣342 / ☎0574-54-1355

9:00~17:30 / 日曜・第4土曜定休

■アースマーケット

毎月のマーケットのほか、1年に1度「アースマーケット」を開催。ベジの飲食店が並んで賑わう。2017年は5月28日(日)の10:00~16:00に開催。

アースマーケットの
スタッフ一堂



近隣住民も集めベジライフを楽しむ交流の場に

ら、高野豆腐を使ったもどき料理をベジタリアンでない方にも楽しんでいただく機会を提供しました。「わらべ村」と「Cafe Mannaz」の両立が難しくなった頃、想いをそのまま引き継いでくださるご夫婦が現れ、Cafe Omanaとして生まれ変わりましたが、いつかわらべ村の隣でCafe Mannazを再開できるといういな、と祐子さんは考えています。
現在は、生産者さんと消費者さんを繋ぐ場として毎月小さなマーケットを開いており、また、毎年5月の

周年祭にはアースマーケットというベジタリアンの飲食店が並ぶお祭りを開催、毎年多くの方が足を運んで来られます。アトピーで一般的なお祭りでは食べられるものがなくて寂しい思いをしているお子さんが「今日は何でも食べていいんだね」と大喜びで、何を食べようか迷っている姿などが見受けられるそうです。
今後も「こうしたお祭りやイベントを開くことで、美味しく楽しいベジタリアンライフを提案し続けてゆけたら」と思っているとの事です。

「おいしいは、やさしい。」



株式会社 株式会社 株式会社
株式会社 株式会社 株式会社

〒380-0928 長野県長野市若里1606

☎ 026-226-1671(代)

<http://www.misuzu-co.co.jp>

2014年
グッドカンパニー大賞
優秀企業賞受賞

エコアクション21
認定・登録番号
0004480

HEALTH, SAFETY & HALAL ASSOCIATION
(健康安全ハラル協会) ハラル認証取得



<協会事務局>
〒532-0003
大阪市淀川区
宮原 1-19-23-410
☎06-6868-9860
<http://www.jpvs.org>

NPO法人日本ベジタリアン協会
橋本 晃一(事務局長)
日本ベジタリアン学会プレゼンテーション賞受賞